

第二回全国高校生花いけバトル 大会ルール

【 参加資格 】

- ・国内の高等学校に在学中の生徒はどなたでも参加することができます。
- ・華道部、フラワーアレンジメント部のほか、部活動に属していない生徒も参加できます。

【 参加チーム 】

- ・同一の高等学校に通う生徒2名1組でチームを編成してください。
- ・1校につき最大3チームまで参加することができます。
- ・原則は地区区分によりますが、学校から交通の利便性の良い地区大会を選びエントリーすることも可能です。
- ・各チーム、参加者が地区大会にエントリーすることができるのは1回のみです。
- ・複数の地区大会にエントリーすることはできません。
- ・同一高等学校内でチームを複数構成し、異なる地区大会にエントリーすることはできません。
- ・各地の地区大会は最大24チームで展開します。
- ・申込み多数の場合、先着順に受付します。
- ・地区大会優勝チームは8月18～19日に開催される決勝大会の出場権を獲得します。
- ・優勝チームが決勝大会への出場を辞退した場合、準優勝チームが繰り上がって出場権を得ます。
- ・参加者は学校名、学年、氏名、写真など個人情報に関わる内容を公式ウェブサイト、SNS、広報物、取材記事等に掲載する可能性があることを予めご承諾ください。

【 参加費 】

- ・無料

【 交通費 】

- ・決勝大会への交通費、宿泊費(1チーム2名分)は主催者が負担します。
- ・地区大会会場への交通費は自己負担になります。

【 決勝大会の表彰 】

- ・優勝：1チーム 表彰状 / 優勝カップ‘栗林公園杯’
- ・準優勝：1チーム 表彰状
- ・出場記念メダル(参加者全員)

【 花いけバトル基本ルール 】

- ・花をいける制限時間は5分間です。
- ・制限時間中、ステージに用意された花材を選び、即興で花をいけます。
- ・花材、花器は主催者が用意します。
- ・花材、花器の持ち込みはできません。
- ・花ばさみ等の道具類は各自持参してください。
- ・剣山、七宝、吸水性スポンジ、ワイヤー、のこぎり等は必要に応じて各自持参してください。
- ・枝もの、切り花などの花材は丁寧に、大切に扱ってください。
- ・美しく、きれいな所作で花をいけられるよう心掛けてください。
- ・花、葉のついた植物は、保水された状態(植物が水を吸うことのできる状況)でいけてください。
- ・所作台(花をいけるための台)の掃除は出場者自身が5分間の時間内に行うものとします。

【 審査の基準(ジャッジメント) 】

- ・勝敗の判定は審査員2名と勝ち札を持った観客全員により行なわれます。
- ・審査は、5分間を楽しく、元気よく、花のいのちと向き合い、花をいかにいけていたかを評価する「表現点」と、完成した作品そのものを評価する「作品点」の2項目が判定の基準となります。
- ・観客は勝ち札を用いて投票します。
- ・審査員の点数は「表現点」と「作品点」を合計して決定されます。
- ・全体の得点は審査員が40%、観客が60%の配分となります。
- ・審査員その他、審判員(レフリー)がルールに則しているかを判定します。

【 審査員による評価 】

- 以下の項目に対し、審判員がその行為を認めた際は、審査員の得点が減点されます。
- ・器の破損・花、葉のついた植物が明らかに保水されていない状況でいけられている
 - ・散華(花びらを散らす)
 - ・5分終了後、ゴングが鳴ってからも花をいけ続けている
 - ・禁止事項、マナーが守られていない

第二回全国高校生花いけバトル 大会ルール

【 審査についての補足事項 】

- ・本番中、相手の作品を不注意で倒してしまった場合、審判員（レフリー）の判断でラウンド（対戦）を仕切り直す場合があります。
- ・本番中、バランスを崩してしまった作品に対し、審判員（レフリー）の判断で器を支える場合があります。その際、ゴングが鳴った時点で支えていないと自立できない作品は、審判員（レフリー）の判断で横に倒し、片付けられます。
- ・保水を必要としない花材は、枯れもの、晒しもの、漂白されたもの、着色されたもの、竹です。

【 禁止事項 】

- ・主催者が準備した花材以外のものを持ち込み使用する。
- ・所作台（花をいけるための台）、踏み台、脚立に上る。

【 アシスタントスタッフ 】

- ・ステージ上のアシスタントスタッフは花をいけるためのサポートは行いません。
- ・アシスタントスタッフは給水と排水、作品の片付け、掃除を行います。

【 服装 】

- ・制服で出場することを前提とします。
- ・制服を有さない高等学校はステージに相応しい服装で出場してください。
- ・出場者それぞれの個性が活かされた服装アレンジをすることを認めています。例) 髪飾り、ハチマキなど

【 応援団 】

- ・応援団の皆さんの参加を歓迎します。
- ・会場により鳴り物に制限がある場合があります。予めご相談ください。

【 ころもち 】

- ・難しいことは何もありません。新鮮な気持ちで挑戦してください。
- ・勝ちたいと思う気持ちはとても大切です。
- ・勝ちたいと思う気持ち以上に、花をいけたいと思う気持ちを大切にしてください。